

2024年9月30日

関係各位

野村アセットマネジメント株式会社

## 新しい投資信託「野村ブラックロック世界優良企業厳選ファンド」を設定

～世界最大規模の運用会社であるブラックロックによるアクティブ運用で長期投資先を厳選～

野村アセットマネジメント株式会社(CEO兼代表取締役社長:小池広靖、以下「当社」)は、本日新たな追加型投資信託「野村ブラックロック世界優良企業厳選ファンドAコース(米ドル売り円買い)/Bコース(為替ヘッジなし)」(以下「当ファンド」)<sup>\*1</sup>を設定し、運用を開始しました。当ファンドは、本日より野村証券株式会社を通じて売買が可能となります。

当ファンドは、新興国を含む世界各国の株式を実質的な主要投資対象<sup>\*2</sup>とし、長期的な値上がり期待できる株式への厳選投資を通じて、市場平均を長期で上回るリターン<sup>\*3</sup>の獲得を目指します。株式への厳選投資にあたっては、競争優位性、構造的変化のインパクト、経営陣の質、財務規律などに着目します。当ファンドの実質的な運用を担うブラックロック<sup>\*3</sup>の世界35カ国以上に展開される強力な運用プラットフォームに加え、運用担当チームによる綿密な企業リサーチや企業との面談を通じたファンダメンタルズ分析によって、長期にわたって優位性が継続すると確信を高めた銘柄へ厳選投資します。

日本政府が「資産運用立国実現プラン」を掲げ、資産運用ビジネスの高度化が求められる中、当社は今後も、グループ経営の基礎となるパーパス「金融資本市場の力で、世界と共に挑戦し、豊かな社会を実現する」のもと、世界のお客様から選ばれる、日本を代表する運用会社になることを目指して、競争力のある商品・サービスを投資家の皆様に提供していきます。

<sup>\*1</sup> Aコースにおける「米ドル売り円買い」については、次ページの「当ファンドの投資リスク」における為替変動リスクの項目をご参照ください。

<sup>\*2</sup> 実質的な主要投資対象とは、外国投資法人や「野村マネー マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象を指します。ファンドはファンド・オブ・ファンズ方式で運用します。

<sup>\*3</sup> 当ファンドの実質的な運用を担うブラックロックは、運用資産残高1,500兆円を超える世界最大規模の運用会社(2024年3月末時点)で、投資家から幅広い支持を受けています。

以上

## <野村アセットマネジメントからのお知らせ>

### ■当ファンドの投資リスク

#### 【基準価額の変動要因】

ファンドの基準価額は、投資を行なっている有価証券等の値動きによる影響を受けますが、これらの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。したがって、ファンドにおいて、投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金が割り込むことがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

#### ・株価変動リスク

ファンドは実質的に株式等に投資を行ないますので、株価変動の影響を受けます。特にファンドの実質的な投資対象に含まれる新興国の株式等の価格変動は、先進国以上に大きいものになることが予想されます。

#### ・為替変動リスク

・「Bコース」が投資する「ブラックロック・ファンズ I・ICAV - ブラックロック・グローバル・アンコンストレインド・エクイティ・ファンド - クラス X(円建て)」においては、原則として対円での為替ヘッジを行ないませんので、為替変動の影響を受けます。

・「Aコース」が投資する「ブラックロック・ファンズ I・ICAV - ブラックロック・グローバル・アンコンストレインド・エクイティ・ファンド - クラス Xヘッジ(円建て)」においては、原則として当該クラスの純資産総額を米ドル換算した額とほぼ同額程度の米ドル売り円買いの為替取引を行なうことにより、米ドル建ての資産については為替変動リスクが低減しますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。また、米ドル建て以外の外貨建資産については、当該通貨と米ドルとの間の為替変動の影響を受けます。この場合、当該通貨が米ドルに対して安くなった場合には、基準価額が下落する要因となります。なお、円金利が米ドルの金利より低い場合、為替取引によるコスト(金利差相当分の費用)がかかるため、基準価額の変動要因となります。

・各ファンドの実質的な投資対象に含まれる新興国の通貨については、先進国の通貨に比べ流動性が低い状況となる可能性が高いこと等から、当該通貨の為替変動は先進国以上に大きいものになることも想定されます。

※基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

### ■当ファンドに係る費用(2024年9月現在)

投資者が直接的に負担する費用	
購入時手数料	購入価額※に <b>3.3%(税抜3.0%)以内</b> で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額(詳しくは販売会社にお問い合わせ、もしくは購入時手数料を記載した書面をご覧ください。)購入時手数料は、商品及び関連する投資環境の説明および情報提供等、ならびに購入に関する事務コストの対価として、購入時に頂戴するものです。 ※購入申込日の翌営業日の基準価額
信託財産留保額	ありません

(当ファンドに係る費用は次ページに続きます)

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用  
(信託報酬)

信託報酬の総額は、日々のファンドの純資産総額に信託報酬率を乗じて得た額とします。ファンドの信託報酬は、日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、毎計算期間(第1計算期間を除きます。)の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のときファンドから支払われます。信託報酬率の配分は下記の通りとします。

信託報酬率		年1.848%(税抜年1.68%)	
お支払いの内容及び役務の内容(税抜)	委託会社	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等	年0.95%
	販売会社	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等	年0.70%
	受託会社	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等	年0.03%

【運用の委託先の報酬】

運用の委託先であるブラックロック・ジャパン株式会社が受ける報酬は、委託会社が受ける報酬から、2025年3月以降の毎年3月および9月ならびに信託終了のとき支払われるものとし、その報酬額は、信託財産に属する外国投資法人の外国投資証券の時価総額の日々の平均値に、年0.70%の率を乗じて得た額とします。

その他の費用・手数料

その他の費用・手数料として、以下の費用等がファンドから支払われます。これらの費用等は、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

- ・組入有望証券等の売買の際に発生する売買委託手数料
- ・外貨建資産の保管等に要する費用(Aコースのみ)
- ・監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
- ・ファンドに関する租税 等

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※ 詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

上記は、ファンドのご紹介を目的としており、投資勧誘を目的としたものではありません。信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。記載事項は作成時のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。記載のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。

お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認の上、ご自身でご判断ください。

野村アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第373号

加入協会:一般社団法人 投資信託協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会、一般社団法人 第二種金融商品取引業協会